

# JACC 比較文化会報

本部事務局：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号

西南女学院大学 観光文化学科 林裕二研究室内

会長室：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号

西南女学院大学 観光文化学科 八尋春海研究室内

学会HP：<http://www.hikakubunka.jp/>

## 《日本比較文化学会第41回全国大会・2019年度国際学術会議へのお誘い》

大会準備委員長・関西支部長  
山内 信幸 (同志社大学)

日本比較文化学会第41回全国大会・2019年度国際学術会議が、2019年5月18日(土)に同志社大学今出川キャンパスで開催されます。本学では、過去に数回にわたって全国大会が開催されましたが、このたび、今出川キャンパスの整備以降、初めて会員の皆様方をお迎えする機会となりました。皆様方のご参加を心より歓迎申し上げます。

本学は、10年にわたる米国留学を終えて帰国した新島襄によって、1875年にキリスト教主義に基づいた「一国の良心」を育成するために、この今出川の地に設立された同志社英学校を嚆矢といたします。同志社とは、「志を同じくする者が創る結社」を意味し、その原点は、もちろん新島の志にあります。

本学の建学の精神は、「良心教育」です。これは、新島が一学生への手紙の中で「良心の全身に充満したる丈夫(ますらお)の起り来(きた)らん事を(良心が全身に充満した青年が現れることを)」望んでやまないと認めたことに由来いたします。本学では、すべての建物名は聖書・新島由来のものです。今回の全国大会が開催される建物は、本学のバックボーンである「良心」の名前が付された「良心館」です。

「比較文化学」という多様な研究領域を自由に横断しながら、大学院生を含む新進気鋭の若手研究者から関連学会の重鎮たる碩学にいたるまで、それぞれの専門領域における学術的真理の追究を目指した「志を同じくする者」が集う学会をこの「良心館」で開催できることに格別の感慨を覚えざるを得ません。

本学は、京都という伝統と歴史の地に、北側には京都五山の第2位に叙せられる相国寺が、また、南側には歴代天皇が居住された京都御所が位置していますが、これは、地政学的に見て、キリスト教が仏教と神道の間に挟まれて併存していることを意味しています。本学が享受する伝統と革新、正統と異端という、一見すると相矛盾する精神が見事に調和していることが見て取れます。同志社人が大切にしている「倜儻不羈(てきとうふき)」という言葉は、才気がすぐれ、独立心が旺盛で、常軌では律しがたいことを意味しますが、これは、日本比較文化学会の基本的精神である、異なるものに目を向け、他者を受け入れることによって、自由闊達に議論を交わすことを了とすることに通じるものです。

新緑の京都で、皆様方との再会を楽しみにしております。

## 《日本比較文化学会第41回全国大会・2019年度国際学術会議スケジュール》

日時：2019年5月18日（土）

会場：同志社大学今出川キャンパス（京都市上京区）

([https://www.doshisha.ac.jp/attach/page/OFFICIAL-PAGE-JA-42/69771/file/campusmap\\_imadegawa.pdf](https://www.doshisha.ac.jp/attach/page/OFFICIAL-PAGE-JA-42/69771/file/campusmap_imadegawa.pdf))

スケジュール：

2019年5月17日（金）

17:30～18:30 編集委員会（寒梅館大会議室）

2019年5月18日（土）

9:00～9:50 理事会（寒梅館大会議室）

10:00～10:30 総会（良心館）

10:40～12:10 シンポジウム（良心館） テーマ：「比較文化の教育と研究の新潮流」

13:10～15:50 研究発表（良心館）

16:00～16:45 講演（良心館） 阪田 真己子先生（同志社大学文化情報学部教授）  
「私たちはなぜ笑うのか—笑い研究の潮流と課題—」

17:45～19:45 懇親会（「がんこ高瀬川二条苑」）

※プログラム・発表抄録集は、4月中旬に学会サイトにアップいたします。

※懇親会は事前の申し込みをお願いいたします。詳しくは、4月中旬に学会サイトにアップいたします。

※この時期、京都は国内外からの観光客で非常に混み合い、宿泊先を確保するのが困難になります。  
なるべく早く、宿泊先を予約することをおすすめします。

※研究発表の募集は会報の前号および学会サイトで行いましたが、2月15日に締め切っております。

### 《支部報告》

#### 東北支部

\*【報告】東北・関東支部合同例会

日時：2018年9月16日（日）13:00～

場所：大学コンソーシアムやまがた・ゆうキャンパス・ステーション（山形市）

#### プログラム

##### 1. 研究発表

- (1) 木下 哲生（防衛大学校）「夏目漱石が『坊っちゃん』で描きたかったのは「対立の構図」だけなのか?」
- (2) 矢島 真澄美（東北学院大学）「英国人写真家ハーバート・ジョージ・ポンティングが捉えた日本の町並み—「動く被写体」に対する視点とその表現—」
- (3) 梁 鎮輝（宇都宮大学大学院）「露伴における近代中国知識人の影響—「墨子」論の展開を通じて—」
- (4) 董 航（お茶の水女子大学大学院）「藤井懶斎における『迪吉録』の受容」
- (5) 今野 善伸（宇都宮大学大学院）「『葬送の自由をすすめる会』におけるゼロ葬をめぐる死後の人格権について」
- (6) 小林 竜一（江戸川学園取手高校）「SDGs Study Tour における高校生の意識変容」
- (7) 森崎 巧一（京都経済短期大学）・高木 亜有子（湘北短期大学）「一対比較 WEB アンケート」

ツールと画像解析ツールの開発の報告」

\* 研究発表後には懇親会が催され、こちらも例会に劣らず楽しい集まりとなりました。遠路にもかかわらず山形までお越しくださった参加者の皆様に、心から感謝申し上げます。

支部長 伊藤 豊

## 関東支部

\* 【報告】 関西・中部・関東支部合同例会

日時：2019年2月9日（土）13:00～17:50

場所：東京未来大学 A 棟 301・302・402 教室

### プログラム

#### 1. 研究発表

——セッション A：A 棟 204 教室——

- (1) 木下 哲生<関東支部> (防衛大学) 「日本語のやりもらい表現に見るウチとソト」
- (2) 川里 卓<関西支部> (名古屋大学大学院) 「小林秀雄批評における解釈の対象は何か—ドストエフスキー『罪と罰』論の考察を通して—」
- (3) 向野 康江<関東支部> (茨城大学) 「大正初期の子ども達による手づくり雑誌形成の時代相—向野堅一家の『骨肉』分析に先立って—」
- (4) 高橋 強<関東支部> (東海大学) 「動機づけに関する一考察：小学校英語教育を例として」
- (5) 松家 鮎美<中部支部> (岐阜女子大学) 「幼稚園英語教育についての—調査—教育効果に及ぼすネイティブ講師の指導と担任のサポート—」
- (6) 吉田 好美<関東支部> (群馬大学) 「LINEにおける断りの構造についての—考察—」

——セッション B：A 棟 302 教室——

- (1) 長田 元<関東支部> (宇都宮大学大学院) 「インフラ活用と地域文化振興に関する考察—金沢港振興と港湾周辺地域活性化に向けた取組みを中心に—」
- (2) 郭 瑠<関東支部> (法政大学大学院) 「コミュニタリアニズムの限界を乗り越える—梁漱溟の郷村建設論と江渡狄嶺の「場」の理論と比較を通じて—」
- (3) 熊谷 摩耶<関東支部> (湘北短期大学) 「16-18 世紀の西洋人たちの記録にみる「籠居」する中国女性」
- (4) 川崎 瑞穂<関東支部> (国立音楽大学) 「アニメ・映画における「線路」の間テキスト性—境界線？逃走線？それとも世界線？—」
- (5) 向野 正弘<関東支部> (県立所沢西高等学校・向野堅一記念館館長) 「宮川五郎三郎の朝鮮統治策・経済策批判—『建白書』（大正十二年・一九二三年）の考察—」
- (6) 塚本 美穂<中部支部> (東京経済大学大学院) 「メキシコ壁画運動における画風と影響」

\* (セッション A・B の全参加者は、各セッション(1)～(3)の発表後、402 教室にて下記ワークショップに参加。終了後、元のセッションに戻る)

- 「画像解析を取り入れた印象評価分析ツールの体験ワークショップ」  
生活・文化研究会および関西・中部・関東支部合同例会の共同開催  
森崎 巧一 (京都経済短期大学 教授) ・高木 亜有子 (湘北短期大学 准教授)

\* 【お知らせ】 第 50 回関東支部例会および 2018 年度関東支部総会

日時：2019年3月30日（土）13:00～18:00（予定）

場所：東京未来大学（教室未定）

支部長 近藤 俊明

## 中部支部

### \*【報告】2018年度第2回役員会（メール会議）

日時：2019年1月8日（火）

#### 1. 審議事項・決定事項

- (1) 3月の中部支部・例会総会について：2019年3月23日（土）、愛知大学豊橋キャンパスにて開催（13時～17時を予定）。開催案内及び発表募集について、学会HPへUPし、中部支部会員へ周知することが決定した。
- (2) 例会における「勉強会」について：大崎洋会員（愛知大学総合郷土研究所）より、地域教育や郷土研究の観点から問題提起いただくことが決定した。
- (3) シンポジウムのパネリストについて：日本比較文化学会第41回（2019年度）全国大会・国際学術会議大会シンポジウムのパネリストとして、中部支部幹事・水町いおり会員が選出された。

### \*【お知らせ】2018年度例会・総会

日時：2019年3月23日（土）13:00～

場所：愛知大学豊橋キャンパス 実行委員長：杉本 貴代（愛知大学）

内容：今回は地域教育や郷土研究の観点からの勉強会を企画しております。さらに「自由研究発表」を予定しています。本部ホームページから申し込み書類等のご案内をいたしますので、奮ってご応募願います。

支部長 白鳥 絢也

## 関西支部

### \*【報告】2018年度12月例会・関西支部総会

日時：2018年12月22日13:30～17:10

場所：同志社大学今出川キャンパス 良心館401教室、402教室

### プログラム

#### 1. 研究発表（13:30～16:00 良心館401教室、402教室）

——第1会場：良心館401教室——

- (1) 趙 洋（大阪大学大学院）「労働者階級から「上流階級」への転換についての考察—英語原著作者の描写と日本語訳者の翻訳の比較を通して—」
- (2) 道合 裕基（京都大学大学院）「芥川龍之介「不思議な島」における『ガリヴァー旅行記』からの影響について」
- (3) 周 堂波（大阪大学大学院・武漢理工大学）「後藤朝太郎の中国庭園観」
- (4) 早川 有香（東京工業大学大学院）「持続可能な開発のための教育におけるステークホルダー連携をめぐる国際規範の変化」
- (5) 野中 美賀子（園田学園女子大学）「英語教育における動画を用いたのディズニー映画音楽の有用性—文学と音楽と映像の融合の視点から—」

——第2会場：良心館402教室——

- (1) 劉 温雯（関西外国語大学大学院）「調理動詞に基づく慣用句の日中対照研究」
- (2) 張 宇（大阪市立大学大学院）「日中の民間説話から読み取れるジェンダー観—異類婚姻譚の民間説話から考察する—」
- (3) 陳 翰希（早稲田大学大学院）「曲水宴に関する研究—日中比較民俗学の視点から—」
- (4) 白 焜（関西外国語大学大学院・甲南女子大学・関西外国語大学）「中国語教育における自己

表現育成のためのカリキュラム・デザイン案」

2. 講演 (16:10~17:00 良心館 401 教室)

中川 久公先生 (京都恵美須神社宮司・同志社大学嘱託講師) 「神主から見た習俗」

3. 関西支部総会 (17:00~17:10 良心館 401 教室)

\* 【お知らせ】 関西支部 3 月例会

日時: 2019 年 3 月 2 日 (土)

場所: 同志社大学今出川キャンパス

\* 【お知らせ】 第 41 回全国大会・2019 年度国際学術会議

日時: 2019 年 5 月 18 日 (土)

場所: 同志社大学今出川キャンパス

支部長 山内 信幸

## 中国・四国支部

\* 【お知らせ】 関西・九州・中国・四国 3 支部合同研究発表会

日時: 2019 年 3 月 23 日 (土) 13:00~16:00

場所: 香川大学教育学部 8 号

詳細は後日学会ホームページでお知らせします。

支部長 山下 明昭

## 九州支部

\* 【お知らせ】 九州支部大会

日時: 2019 年 3 月 3 日 (日) 12:30~

場所: 精華女子短期大学 (福岡市博多区)

### プログラム

1. 研究発表

- (1) 堀 秀暢 (津山工業高等専門学校) 「津山工業高等専門学校における台湾国立聯合大学中国語教育実習生受け入について」
- (2) 濱田 みゆき (鹿児島大学大学院) 「宮沢賢治とエドガー・アラン・ポーの共通点」
- (3) 武富 利亜 (岐阜薬科大学) 「イギリス伝説から読み解くカズオ・イシグロの『忘れられた巨人』」
- (4) 入江 良英 (精華女子短期大学) 「人間科学の最重要問題としての「個性化」と「社会化」の一致 (Kontingenz) について」
- (5) 藤山 和久 (広島経済大学) 「ジョウゼフ・コンラッドの『闇の奥』におけるアンビバレンス」
- (6) 中島 亨輔 (広島工業大学) 「人間の視覚認識を基盤にした「黒」概念表示語の分析——日本語と英語表現を対象に——」
- (7) 大谷 鉄平 (長崎外国語大学) 「宣伝・広告文中で商用的にはたらく語句の諸相」
- (8) 川里 卓 (名古屋大学大学院) 「ファン・ゴッホにおける農夫と「自然」——マルティン・ハイデガーの考察を通して——」
- (9) 上杉 裕子\*・山口 裕美\*\*・堀 秀暢\*\* (呉工業高等専門学校\*・津山工業高等専門学校\*\*)  
「伝記的資料による作家たちの印象の変化を探る」
- (10) 高瀬 博 (長崎県活水高等学校) 「「和英辞典」の作り方を応用した「アクティブ・ラーニング」の薦め」

- (11) PERLAKY Denes (Graduate school of East Asian Studies, Yamaguchi University) “Linguistic environment of restaurants in heritage destinations”
- (12) 山崎 祐一 (長崎県立大学) 「コンテンツを重視した英語教育における授業の実践—地域連携プロジェクトをとおして—」
- (13) 岩松 文代 (北九州市立大学) 「寿司を SUSHI にしたアメリカの食文化の素地—外来文化を変える受容と変えない受容に関する試論—」
- (14) 砂川 典子 (九州ルーテル学院大学) 「『ある婦人の肖像』 とベラスケス「王女マルガリータの肖像」 —ヘンリー・ジェイムズとスペイン—」

支部長 八尋 春海

### 《事務局より》

事務局長 林 裕二

#### ○会員情報更新のお願い

住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越の際には、忘れずに会員調査書に新情報をご記入の上、会員調査書送付先アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

<日本比較文化学会 ウェブサイト 入会・会員情報変更>

[http://hikakubunka.jp/?page\\_id=97](http://hikakubunka.jp/?page_id=97)

<入会申込書・会員調査書送付先>

あゆみコーポレーション (業務委託先) hikakubunka@a-youme.jp

#### ○会費納入のお願い

会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。2年以上未納(学生会員については1年以上)の場合には会員資格を失うこととなりますのでご注意ください。

<会費振込情報>

郵便振替口座番号 : 02570-6-8921 加入者名: 日本比較文化学会  
振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。